

北九州市・下関市で「大島丸」体験航海を開催
～海運の認知度向上に向けての活動～

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体等と連携し、「船ってサイコ～」と題した海事施設の見学会等を実施しており、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

8月8日（木）北九州市、8月9日（金）下関市において、北九州市港湾局・下関市港湾局・大島商船高等専門学校・九州海事広報協会などの協力を得て、「大島丸」体験航海を実施し、それぞれ約85名・約130名が参加しました。

船内では、船を操縦する「船橋（ブリッジ）」や機関制御室、実習生の宿泊部屋などを見学し、船上から関門海峡を航行する多くのコンテナ船・ばら積み船・RORO船等の様々な商船など、普段陸から見る関門海峡の景色を海の上から眺めることで、参加者には楽しい夏休みのひと時をお過ごしいただきました。また、北九州港では歓迎訪船セレモニーや同港開港130周年事業の紹介を行い、下関港では同港の紹介や海運の重要性・船員の仕事について講演を行いました。



参加者からは「船による輸入が止まるとコンビニの商品がなくなってしまうことに驚いた」「わかりやすい説明が勉強になった」「いろいろな機械を一度に動かしている船はすごいと思った」などのコメントが寄せられました。また地元メディアの取材もあり、見学会の様子がニュースや情報番組等で放映されました。

当協会では、今後とも皆様の日々の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を実施してまいります。

